

表-3 (2/3) シャッタのスラット材に関する適合性評価に対する影響評価

技術基準	設計番号 (表イ建-1 工場棟転換工場仕様表より抜粋)	評価
外部からの衝撃による損傷の防止 (火山の影響)	[5.4.1-建7] (火山の影響) 表イ建-2 に示す工場棟転換工場の折板屋根は、降下火砕物 (湿潤密度 1.2g/cm ³) で約 10cm (約 60cm の積雪に相当) の短期荷重に対し屋根の耐荷重が上回る構造としている。	火山灰荷重を直接受けない。今回の軽微変更はシャッタのスラット部の材質を明確にするのみであり、内部への火山灰の侵入を防護する機能に対して影響はない。
(生物学的事象) (森林火災)	— (該当なし) [5.4.1-建9] (森林火災) 事業許可に記載のとおり、加工施設から最も近い雑木林まで約 400m 以上の離隔距離があり森林火災の影響のおそれのない場所に立地している。	— (生物学的事象による影響はない) — (立地上問題ない)
(航空機落下に伴う火災)	[5.4.2-建1] (航空機落下に伴う火災) また、航空機落下に伴う火災が発生したとしても、建物内部の設備に影響しないように外壁の損傷を防止する	新設、交換のシャッタのスラット部の材質である <input type="checkbox"/> はダンパに用いられる <input type="checkbox"/> の一種であり、既設のシャッタのスラット部の材質である <input type="checkbox"/> と同様に火災防護の要求を満足している。このため今回の軽微変更による安全機能への影響はない。
(外部火災・爆発、有毒ガス)	[5.4.2-建2] (外部火災・爆発、有毒ガス) 原子力発電所の外部火災影響評価ガイドに基づいて、敷地内外の火災・爆発に対し、建物外壁から火災・爆発源までの離隔距離を危険距離及び危険限界距離を上回るようにするか、火災・爆発源と外壁の間に影響を遮る障壁を置くようにする。	新設、交換のシャッタのスラット部の材質である <input type="checkbox"/> はダンパに用いられる <input type="checkbox"/> の一種であり、既設のシャッタのスラット部の材質である <input type="checkbox"/> と同様に火災防護の要求を満足している。このため今回の軽微変更による安全機能への影響はない。
(ダムの崩壊)	[5.4.2-建3] (ダムの崩壊) 事業許可に記載のとおり、加工施設の北方約 2.5km 離れた低地を流れる久慈川上流の竜神ダムの崩壊による浸水のおそれのない海拔約 30m～32m の高台に立地している。	— (立地上問題ない)
(船舶の衝突)	[5.4.2-建4] (船舶の衝突) 事業許可に記載のとおり、船舶衝突のおそれのない海岸から約 6km 離れた場所に立地している。	— (立地上問題ない)
人の不法な侵入等の防止	[5.5.1-建1] 以下の方策により、人の不法な侵入を防止する。 ・立入制限区域を設け、所定の出入口以外からの人の立ち入りを禁止する。 ・加工施設の建物は、表イ建-2 に示す主要な構造材、鉄扉 (図イ建-9～12、14～17 参照) 等の堅牢な障壁を有する。	新設、交換のシャッタのスラット部の材質である <input type="checkbox"/> は鋼材であり、既設のシャッタのスラット部の材質である <input type="checkbox"/> と同様に容易に破壊できないことで人の不法な侵入を防止している。今回の軽微変更はシャッタのスラット部の材質を明確にするのみであり、安全機能への影響はない。
閉じ込めの機能	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
火災等による損傷の防止	[4.3-建1] 建築基準法第二条第九号の三で定める準耐火建築物の工場棟転換工場は、耐火構造又は不燃性材料を使用する。 [4.3-建4] 工場棟転換工場各部分は、原子力発電所の内部火災影響評価ガイドに基づいて、等価時間より長い耐火時間を確保する [4.3-建5] 火災区域外への延焼防止のため、原子力発電所の内部火災影響評価ガイドを参考に防火壁、防火扉、防火シャッタを設置する。	新設、交換のシャッタのスラット部の材質である <input type="checkbox"/> はダンパに用いられる <input type="checkbox"/> の一種であり、既設のシャッタのスラット部の材質である <input type="checkbox"/> と同様に、板厚が <input type="checkbox"/> mm あることで、1 時間耐火の要求を満足している。このため今回の軽微変更による安全機能への影響はない。

表-3 (3/3) シャッタのスラット材に関する適合性評価に対する影響評価

技術基準	設計番号 (表イ建-1 工場棟転換工場仕様表より抜粋)	評価
溢水による損傷の防止	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
安全避難通路等	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
安全機能を有する施設	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
材料及び構造	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
搬送設備	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
核燃料物質の貯蔵施設	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
警報設備等	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
放射線管理施設	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
廃棄施設	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
核燃料物質等による汚染の防止	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
遮蔽	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
換気	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
非常用電源設備	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
通信連絡設備	— (該当なし)	— (評価対象ではない)
その他事業許可で求める仕様	[99-建 1] 更なる安全裕度の向上策として、耐震重要度分類第 1 類の工場棟転換工場は、静的地震力 3Ci に対して概ね弾性範囲とする。 [99-建 3] 更なる安全裕度の向上策として、F3 竜巻(最大風速 92m/s)に対し、工場棟転換工場本体に竜巻防護ラインを設定する。	静的地震力 3Ci に対しても、耐震評価として、建物の質量の一部として考慮されている。なお今回の軽微変更はシャッタのスラット部の材質を明確にするのみであり、安全機能への影響はない。 F3 竜巻に対しては持たせる必要がある場合は鉄扉に交換していることから、これには該当しない。

添付 1

4 次申請：軽微変更後の新旧比較表

変更前(令和2年3月27日付 原報掲載第 2003279 号にて認可)

表イ建-2 工場棟乾燥工場 主要な構造材の仕様表(2/7)
耐震性能及び耐風圧性能等の適合に関する主要な構造材基本仕様

項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象図面
耐震性能 向上	(1) 本体 1-a. 柱脚部重石補強 鉄筋: D13 あと施工アンカー: D16 他 1-b. 鉄骨プレース新設 鉄骨: 他 1-c. 鉄骨プレース交換補強 鉄骨: 他 1-d. 風圧面鉄骨補強 鉄骨: 他 1-h. エキスパンジョイント改造(1/1) 鋼板: 板厚(厚外) mm 止水シート: 厚さ mm (2) 本体及び前室 1-e. 柱梁仕口部補強 鋼板: 板厚 mm スタッドボルト: 径 mm あと施工アンカー: D13 1-f. 柱脚部溶接補強	(1) 本体 1-a. 図イ建-19, 26~30, 32~41, 45 1-b. 図イ建-19~20, 22, 25~27, 29~30, 32, 34~35, 38~41, 48 1-c. 図イ建-19~20, 22, 25~26, 30~31, 37, 40~41, 48 1-d. 図イ建-20, 22~23, 25~30, 32, 34~39, 47 1-h. 図イ建-51(2)~(3/2), 14~18 (2) 本体及び前室 1-e. 図イ建-20, 22~23, 25~41, 48 1-f. 図イ建-19, 25~41, 46 (参考) 図イ建-1(1/1)~(1/4) 添付説明書-建2-II 添付説明書-建2-付録2
	(1) 本体 1-i. 外壁サイディング補強 外壁: サイディング 外壁下地材: 板厚 mm 1-j. 鉄屋補強材 鉄骨: 他 1-1. 鋼板補強 鋼板: 板厚 mm 下地材: mm 断熱材: 断熱材厚 mm 折板継替え補強(排気塔) 折板: 板厚 mm (2) 前室 1-n. 外壁更新 外壁: サイディング 外壁下地材: 板厚 mm 発泡性耐火被覆材: 厚さ mm 発泡性及び前室 鋼材: 板厚 mm 1-k. 鉄屋及びシャッター交換 鋼材: 板厚 mm (鋼材は、鉄屋の場合、シャッターの場合、面の両サイドのレールの部材、板厚は、鉄屋の場合、面の部材、シャッターの場合、スラット部を示す) 1-o. 折板追設補強 折板: 板厚 mm	(1) 本体 1-i. 図イ建-14~17, 19~23, 25~30, 32~44, 46 1-j. 図イ建-10~13, 15~17 1-l. 図イ建-14~16, 19~20, 22, 32, 46 1-p. 図イ建-17, 24, 47 (2) 前室 1-n. 図イ建-14, 19~20, 32~33, 46 1-k. 図イ建-9, 11~12, 14, 16~17 1-o. 図イ建-17, 20, 23, 47 (参考) 図イ建-1(1/1)~(1/4) 添付説明書-建3-II 添付説明書-建3-I

注1) 第2種燃料倉庫との間のエキスパンションジョイント②は表へ建-2-IIに、除染室・分折室との間のエキスパンションジョイント④は表ト建-2-3Iに示す。

変更後

表イ建-2 工場棟乾燥工場 主要な構造材の仕様表(2/7)
耐震性能及び耐風圧性能等の適合に関する主要な構造材基本仕様

項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象図面
耐震性能 向上	(1) 本体 1-a. 柱脚部重石補強 鉄筋: D13 あと施工アンカー: D16 他 1-b. 鉄骨プレース新設 鉄骨: 他 1-c. 鉄骨プレース交換補強 鉄骨: 他 1-d. 風圧面鉄骨補強 鉄骨: 他 1-h. エキスパンジョイント改造(1/1) 鋼板: 板厚(厚外) mm 止水シート: 厚さ mm (2) 本体及び前室 1-e. 柱梁仕口部補強 鋼板: 板厚 mm スタッドボルト: 径 mm あと施工アンカー: D13 1-f. 柱脚部溶接補強	(1) 本体 1-a. 図イ建-19, 26~30, 32~41, 45 1-b. 図イ建-19~20, 22, 25~27, 29~30, 32, 34~35, 38~41, 48 1-c. 図イ建-19~20, 22, 25~26, 30~31, 37, 40~41, 48 1-d. 図イ建-20, 22~23, 25~30, 32, 34~39, 47 1-h. 図イ建-51(2)~(3/2), 14~18 (2) 本体及び前室 1-e. 図イ建-20, 22~23, 25~41, 48 1-f. 図イ建-19, 25~41, 46 (参考) 図イ建-1(1/1)~(1/4) 添付説明書-建2-II 添付説明書-建2-付録2
	(1) 本体 1-i. 外壁サイディング補強 外壁: サイディング 外壁下地材: 板厚 mm 1-j. 鉄屋補強材 鉄骨: 他 1-1. 鋼板補強 鋼板: 板厚 mm 下地材: mm 断熱材: 断熱材厚 mm 折板継替え補強(排気塔) 折板: 板厚 mm (2) 前室 1-n. 外壁更新 外壁: サイディング 外壁下地材: 板厚 mm 発泡性耐火被覆材: 厚さ mm 発泡性及び前室 鋼材: 板厚 mm 1-k. 鉄屋及びシャッター交換 鋼材: 板厚 mm (シャッターレール部: 板厚 mm) シャッターレール部: 板厚 mm 1-o. 折板追設補強 折板: 板厚 mm	(1) 本体 1-i. 図イ建-14~17, 19~23, 25~30, 32~44, 46 1-j. 図イ建-10~13, 15~17 1-l. 図イ建-14~16, 19~20, 22, 32, 46 1-p. 図イ建-17, 24, 47 (2) 前室 1-n. 図イ建-14, 19~20, 32~33, 46 1-k. 図イ建-9, 11~12, 14, 16~17 1-o. 図イ建-17, 20, 23, 47 (参考) 図イ建-1(1/1)~(1/4) 添付説明書-建3-II 添付説明書-建3-I

注1) 第2種燃料倉庫との間のエキスパンションジョイント②は表へ建-2-IIに、除染室・分折室との間のエキスパンションジョイント④は表ト建-2-3Iに示す。

変更理由

材料に係る記載内容を適正化するため。
なお、適合性評価における影響がなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更前(令和2年3月27日付 原規規発第 2003279 号にて認可)

変更後

変更理由

材料に係る記載内容を適正化するため。
なお、適合性評価における影響がなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

表イ建-2 工場棟転換工場 主要な構造材の仕様表(7/7)

表イ建-2 工場棟転換工場 主要な構造材の仕様表(7/7)

主要な部材寸法及び工事名称	区分	部材寸法	材質
1-e. 柱梁仕口部補強	新設	鋼板：板厚 \square mm、 \square mm、 \square mm、 \square mm、 \square mm、 \square mm スタッドボルト：径 \square mm (JIS B1198) あと施工アンカー：D13	
	既設	鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨	
1-f. 柱脚部溶接補強	新設	—	—
1-g. 耐火壁造設	新設	下地材： \square (JIS A6517) 鋼板：板厚 \square mm 下地材： \square mm	
1-h. エキスパンションジョイント改造	新設	鋼板：板厚 \square mm 止水シート：厚さ \square mm	
1-i. 外壁サイディング補強	新設	外壁下地材： \square mm 鉄筋補強材	
1-j. 鉄筋補強	新設	—	
1-k. 鉄筋及びシャッタ交換	新設	鋼柱：板厚 \square mm (鋼材は、鉄筋の場合、筋の根材、シャッタの場合、シャッタ両サイドのレールの部材、板厚は、鉄筋の場合、筋の根材、シャッタの場合、シャッタ部を示す) 下地材： \square mm	
1-l. 鋼板補強	新設	鋼板：板厚 \square mm	
1-m. 鋼板新設	新設	鋼板：板厚 \square mm	
1-n. 外壁更新	新設	鋼板：板厚 \square mm	
1-o. 折板追加補強	新設	外壁下地材： \square mm 板厚 \square mm	
1-p. 折板取替え補強	新設	外壁下地材： \square mm 板厚 \square mm	

主要な部材寸法及び工事名称	区分	部材寸法	材質
1-e. 柱梁仕口部補強	新設	鋼板：板厚 \square mm、 \square mm、 \square mm、 \square mm、 \square mm、 \square mm スタッドボルト：径 \square mm (JIS B1198) あと施工アンカー：D13	
	既設	鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨 鉄骨	
1-f. 柱脚部溶接補強	新設	—	—
1-g. 耐火壁造設	新設	下地材： \square (JIS A6517) 鋼板：板厚 \square mm 下地材： \square mm	
1-h. エキスパンションジョイント改造	新設	鋼板：板厚 \square mm 止水シート：厚さ \square mm	
1-i. 外壁サイディング補強	新設	外壁下地材： \square mm 鉄筋補強材	
1-j. 鉄筋補強	新設	—	
1-k. 鉄筋及びシャッタ交換	新設	鉄筋補強：板厚 \square mm シャッタレール部： \square mm シャッタスラット部：板厚 \square mm 下地材： \square mm	
1-l. 鋼板補強	新設	鋼板：板厚 \square mm	
1-m. 鋼板新設	新設	鋼板：板厚 \square mm	
1-n. 外壁更新	新設	外壁下地材： \square mm 板厚 \square mm	
1-o. 折板追加補強	新設	外壁下地材： \square mm 板厚 \square mm	
1-p. 折板取替え補強	新設	外壁下地材： \square mm 板厚 \square mm	

(参考)
添付図 2-II.1.6-1 表~6-9 表
添付説明書 1-建 2-付録 2
添付図 3-II.1.4-1 表
添付図 3-XI.3.8-1 表
添付図 3-XI.4.7-1 表

(参考)
添付図 2-II.1.6-1 表~6-9 表
添付説明書 1-建 2-付録 2
添付図 3-II.1.4-1 表
添付図 3-XI.3.8-1 表
添付図 3-XI.4.7-1 表

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更前(令和2年3月27日付 原規規発第 2003279 号にて認可)

表 本建-2-1 工場構組立工場 主要な構造材の仕様表(2/3)

項目	仕様 (工事番号及び工事名称)	対象図面
耐震性能 向上	(1) 本体 3-a. 壁新設補強 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 新設杭: <input type="text"/> mm (SC杭) 新設基礎: 鉄筋コンクリート <input type="text"/> mm× <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 D29 鋼材: 板厚 <input type="text"/> mm (鉄皿、シャッタ) (鋼材は、鉄皿の場合、原の板材、シャッタの場合、 シャッタ両サイドのレールの部材、板厚は、鉄皿の場合、 原の板材、シャッタの場合、スラット部を指す)	(1) 本体 3-a. 図中建-1~2, 4 ~5, 11 3-b. 図中建-1, 8~10, 12 3-c. 図中建-1~5, 7 ~8, 10, 12 3-d. 図中建-4~5, 8 ~9, 12~13
	3-b. 壁増打ち補強 増打ち厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 あと施工アンカー: D16 シアコネクタ: D13 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D16 あと施工アンカー: D16, D19, D22	(2) 本体及び補室 図中建-1(1/4)~(1/4) 3-e. 図中建-6~10, 15 (参考) 部付説明書-建 2-IV
耐震巻 性能向上	(2) 本体及び補室 3-c. 屋根面鉄骨補強 本体鉄骨: <input type="text"/> mm 他 前室鉄骨: <input type="text"/> mm 他	(1) 本体及び補室 3-f. 鉄原補強材 鉄骨: <input type="text"/> mm 他 断面寸法: <input type="text"/> mm 3-h. 折板張替え補強 折板: 板厚 <input type="text"/> mm
	(1) 本体及び補室 3-f. 鉄原補強材 鉄骨: <input type="text"/> mm 他 断面寸法: <input type="text"/> mm 折板: 板厚 <input type="text"/> mm	(2) 前室 3-g. 図中建-1~2, 4, 13 (参考) 図中建-1(1/4), (3/4) ~(4/4) 部付説明書-建 3-IV

187

変更後

表 本建-2-1 工場構組立工場 主要な構造材の仕様表(2/3)

項目	仕様 (工事番号及び工事名称)	対象図面
耐震性能 向上	(1) 本体 3-a. 壁新設補強 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 新設杭: <input type="text"/> mm (SC杭) 新設基礎: 鉄筋コンクリート <input type="text"/> mm× <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 D29 鋼材: 板厚 <input type="text"/> mm (鉄皿、シャッタ) (鋼材は、鉄皿の場合、原の板材、シャッタの場合、 シャッタ両サイドのレールの部材、板厚は、鉄皿の場合、 原の板材、シャッタの場合、スラット部を指す)	(1) 本体 3-a. 図中建-1~2, 4 ~5, 11 3-b. 図中建-1, 8~10, 12 3-c. 図中建-1~5, 7 ~8, 10, 12 3-d. 図中建-4~5, 8 ~9, 12~13
	3-b. 壁増打ち補強 増打ち厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 あと施工アンカー: D16 シアコネクタ: D13 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D16 あと施工アンカー: D16, D19, D22	(2) 本体及び補室 図中建-1(1/4)~(1/4) 3-e. 図中建-6~10, 15 (参考) 部付説明書-建 2-IV
耐震巻 性能向上	(2) 本体及び補室 3-c. 屋根面鉄骨補強 本体鉄骨: <input type="text"/> mm 他 前室鉄骨: <input type="text"/> mm 他	(1) 本体及び補室 3-f. 鉄原及びシャッタ補強 鉄骨: <input type="text"/> mm 他 断面寸法: <input type="text"/> mm 3-h. 折板張替え補強 折板: 板厚 <input type="text"/> mm
	(1) 本体及び補室 3-f. 鉄原及びシャッタ補強 鉄骨: <input type="text"/> mm 他 断面寸法: <input type="text"/> mm 折板: 板厚 <input type="text"/> mm	(2) 前室 3-g. 図中建-1~2, 4, 13 (参考) 図中建-1(1/4), (3/4) ~(4/4) 部付説明書-建 3-IV

187

変更理由

材料に係る記載内容を適正化するため。
なお、適合性評価における影響がなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線開い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線開いで示す。

変更前(令和2年3月27日付 原規規発第2003279号にて認可)

表ト建-2-3 付属建物除染室・分所室 主要な構造材仕様表(2/4)

項目	仕様	対象箇所
耐震性能 向上	(1) 本体 8-a. 柱脚補強：鉄筋コンクリート \square mm \times \square mm 鉄筋：D19 \square mm あと施工アンカー：D13 \square mm 8-b. 鉄骨プレース交換補強 鉄骨： \square mm 8-c. 屋根面鉄骨補強 鉄骨： \square mm 8-e. エキスパンションジョイント改造(付) 鋼板：板厚 \square mm 止水シート：厚さ \square mm	(1) 本体 8-a. 図ト建-25、26~31 8-b. 図ト建-25、30~31 8-c. 図ト建-27~29、34 8-e. 図ト建-5(1/3)、 図ト建-22~24 (参考) 図ト建-1(1/4)~(2/4) 添付説明書-建2-K 添付説明書-建2-付録2
	耐震性能 向上	(1) 本体 8-f. 外壁サイディング補強 新設杭： \square mm、厚さ \square mm (鋼管杭) 新設基礎：鉄筋コンクリート 鉄筋：D13 \square mm あと施工アンカー：D13 \square mm 外壁下地材： \square mm 外壁：サイディング 鉄筋補強材 鉄骨： \square mm 8-h. 鉄骨及びビシヤツタ交換 鋼材：板厚 \square mm （鋼材は、鉄骨の場合、シヤツタの場合、スラット部を明示） 8-i. 折板設置補強 折板：板厚 \square mm
その他 耐震的および 閉じ込め性能 向上	(1) 本体 8-d. 間仕切り壁更新 下地材： \square mm 石膏ボード：板厚 \square mm 及び \square mm 右膏ボード：板厚 \square mm 及び \square mm	(1) 本体 8-d. 図ト建-22 (参考) 図ト建-1(1/4) 添付説明書-建1

注1) 第2様燃料倉庫との間のエキスパンションジョイント③は表へ建-2-1に示す。

369

変更後

表ト建-2-3 付属建物除染室・分所室 主要な構造材仕様表(2/4)

項目	仕様	対象箇所
耐震性能及び 耐震性能等 の適合に関する 主要な構造材 仕様表	(1) 本体 8-a. 柱脚補強：鉄筋コンクリート \square mm \times \square mm 鉄筋：D19 \square mm あと施工アンカー：D13 \square mm 8-b. 鉄骨プレース交換補強 鉄骨： \square mm 8-c. 屋根面鉄骨補強 鉄骨： \square mm 8-e. エキスパンションジョイント改造(付) 鋼板：板厚 \square mm 止水シート：厚さ \square mm	(1) 本体 8-a. 図ト建-25、26~31 8-b. 図ト建-25、30~31 8-c. 図ト建-27~29、34 8-e. 図ト建-5(1/3)、 図ト建-22~24 (参考) 図ト建-1(1/4)~(2/4) 添付説明書-建2-K 添付説明書-建2-付録2
	耐震性能 向上	(1) 本体 8-f. 外壁サイディング補強 新設杭： \square mm、厚さ \square mm (鋼管杭) 新設基礎：鉄筋コンクリート 鉄筋：D13 \square mm あと施工アンカー：D13 \square mm 外壁下地材： \square mm 外壁：サイディング 鉄筋補強材 鉄骨： \square mm 8-h. 鉄骨及びビシヤツタ交換 鋼材：板厚 \square mm （鋼材は、鉄骨の場合、シヤツタの場合、スラット部を明示） 8-i. 折板設置補強 折板：板厚 \square mm
その他 耐震的および 閉じ込め性能 向上	(1) 本体 8-d. 間仕切り壁更新 下地材： \square mm 石膏ボード：板厚 \square mm 及び \square mm 右膏ボード：板厚 \square mm 及び \square mm	(1) 本体 8-d. 図ト建-22 (参考) 図ト建-1(1/4) 添付説明書-建1

注1) 第2様燃料倉庫との間のエキスパンションジョイント③は表へ建-2-1に示す。

369

変更理由

材料に係る記載内容を適正化するため。
なお、適合性評価における影響がなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更前(令和2年3月27日付 原規規発第 2003:279 号にて認可)

表ト建-2-3 付属建物除染室・分析室 主要な構造物材の仕様表(1/4)

主要な部材寸法及び材質 工事番号及び工事名称	区分	部材寸法	材質
8-a. 柱脚補強	新設	鉄筋：D19 あと施工アンカー：D13	
8-b. 鉄骨ブレース交換補強	既設	鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨：	
	新設	鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨：	
8-c. 屋根面鉄骨補強	既設	鉄骨：	
	新設	鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨：	
8-d. 間仕切り壁更新	新設	下地材： (JIS A6517)	
8-e. エキスパンション ジョイント改造	新設	鋼板：板厚 (屋外) <input type="text"/> mm (屋内) <input type="text"/> mm 止水シート：厚さ <input type="text"/> mm	
	新設	新設板： <input type="text"/> mm、厚さ <input type="text"/> mm 鉄筋：D13 あと施工アンカー：D13 外壁下地材： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨：	
8-f. 外壁サイディング補強	新設	鉄筋補強材	
8-g. 鉄骨補強	新設	鋼材：板厚 <input type="text"/> mm (鋼材は、鉄筋の場合、原の板材、シヤッタの場合、シヤッタ部サイドのレベルの部分、板厚は、鉄筋の場合、原の板材、シヤッタの場合、ストラット部を参照)	
8-h. 鉄筋及びシヤッタ交換	新設	鉄筋： 鉄筋： 鉄筋： 鉄骨： 鉄骨：	
8-i. 折戻設置補強	新設	板厚 <input type="text"/> mm	

(参考)
添説建 2-IX.1.6-1 表~6-9 表
添付説明書 建 2-付録 2
添説建 3-IX.1.4-1 表

371

変更後

表ト建-2-3 付属建物除染室・分析室 主要な構造物材の仕様表(1/4)

主要な部材寸法及び材質 工事番号及び工事名称	区分	部材寸法	材質
8-a. 柱脚補強	新設	鉄筋：D19 あと施工アンカー：D13	
8-b. 鉄骨ブレース交換補強	既設	鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨：	
	新設	鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨：	
8-c. 屋根面鉄骨補強	既設	鉄骨：	
	新設	鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨：	
8-d. 間仕切り壁更新	新設	下地材： (JIS A6517)	
8-e. エキスパンション ジョイント改造	新設	鋼板：板厚 (屋外) <input type="text"/> mm (屋内) <input type="text"/> mm 止水シート：厚さ <input type="text"/> mm	
	新設	新設板： <input type="text"/> mm、厚さ <input type="text"/> mm 鉄筋：D13 あと施工アンカー：D13 外壁下地材： 鉄骨： 鉄骨： 鉄骨：	
8-f. 外壁サイディング補強	新設	鉄筋補強材	
8-g. 鉄骨補強	新設	鋼材：板厚 <input type="text"/> mm (鋼材は、鉄筋の場合、原の板材、シヤッタの場合、シヤッタ部サイドのレベルの部分、板厚は、鉄筋の場合、原の板材、シヤッタの場合、ストラット部を参照)	
8-h. 鉄筋及びシヤッタ交換	新設	鉄筋： 鉄筋： 鉄筋： 鉄骨： 鉄骨：	
8-i. 折戻設置補強	新設	板厚 <input type="text"/> mm	

(参考)
添説建 2-IX.1.6-1 表~6-9 表
添付説明書 建 2-付録 2
添説建 3-IX.1.4-1 表

371

変更理由

材料に係る記載内容を適正化するため。
なお、適合性評価における影響がなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更前(令和2年3月27日付原規規発第2003279号にて認可)

表1 建物 表1 東部分・東部

名称	用途	東部分・東部	
表1建-3-3 付属建物除染室・分析室	東部	除染室(2)と屋外との境界 (20-22.5通り間) 道路(1)と屋外との境界 (22.5-22.5通り間) 分析室と屋外との境界 (22.5-25通り間) 除染室・分析室の東部区域境界の東 (20-25通り間) 除染室・分析室の東部区域境界の南 (25-25通り間)	
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部

表1建-3-3 付属建物除染室・分析室 建築物の各部位の仕様表(2/3)

名称	用途	東部分・東部	
表1建-3-3 付属建物除染室・分析室	東部	除染室(2)と屋外との境界 (20-22.5通り間) 道路(1)と屋外との境界 (22.5-22.5通り間) 分析室と屋外との境界 (22.5-25通り間) 除染室・分析室の東部区域境界の東 (20-25通り間) 除染室・分析室の東部区域境界の南 (25-25通り間)	
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部

変更後

表1 建物 表1 東部分・東部

名称	用途	東部分・東部	
表1建-3-3 付属建物除染室・分析室	東部	除染室(2)と屋外との境界 (20-22.5通り間) 道路(1)と屋外との境界 (22.5-22.5通り間) 分析室と屋外との境界 (22.5-25通り間) 除染室・分析室の東部区域境界の東 (20-25通り間) 除染室・分析室の東部区域境界の南 (25-25通り間)	
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部

表1建-3-3 付属建物除染室・分析室 建築物の各部位の仕様表(2/3)

名称	用途	東部分・東部	
表1建-3-3 付属建物除染室・分析室	東部	除染室(2)と屋外との境界 (20-22.5通り間) 道路(1)と屋外との境界 (22.5-22.5通り間) 分析室と屋外との境界 (22.5-25通り間) 除染室・分析室の東部区域境界の東 (20-25通り間) 除染室・分析室の東部区域境界の南 (25-25通り間)	
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部
			東部

変更理由

材料に係る記載内容を適正化するため。
なお、適合性評価における影響がなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更前(令和2年3月27日付原規規発第2003279号にて認可)

変更後

変更理由

材料に係る記載内容を適正化するため。
なお、適合性評価における影響がなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

番号	電線	材料	寸法(mm) ※	備考
SD-1	F3			
SD-2	F3			
SD-3	F3			
SD-4	F3			
SD-5	F3			
SD-220	F3			
SD-7	F3			
SD-8	F3			
SD-9	F3			
SD-10	F3			
SD-11	F3			
SD-12	F3			
SD-14	F3			
SD-15	F3			
SD-16	F3			
SD-17	F3			
SD-18	F1			
SS-19	F1			
SD-20	F1			
SD-21	F3			
SD-22	F3			
SD-56	F3			

※ 鉄線の寸法は、扉の概略寸法を示す。
シヤツクの寸法は、枠の内法の概略寸法を示す。
*1 補強する鉄線
*2 交換する鉄線
*3 補強するシヤツク

(注) SDは鉄線、SSはシヤツクを示す。
*4 交換するシヤツク
*5 固縛補強する
*6 次回以降申請

番号	電線	材料	寸法(mm) ※	備考
SD-57	F3			
SD-221	F3			
SD-61	F3			
SD-62	F3			
SD-68	F3			
SD-69	F1			
SS-70	F1			
SD-71	F3			
SD-83	F3			
SD-84	F3			
SD-85	F3			
SS-87	F1			
SD-92	F3			
SD-93	F3			
SD-135	F3			
SD-136-RP	F3			
シヤリ 1	F1			
シヤリ 2	F1			
シヤリ 3	F1			
シヤリ 4	F1			
シヤリ 5	F1			
シヤリ 6	F1			
シヤリ 7	F1			

番号	電線	材料	寸法(mm) ※	備考
SD-1	F3			
SD-2	F3			
SD-3	F3			
SD-4	F3			
SD-5	F3			
SD-220	F3			
SD-7	F3			
SD-8	F3			
SD-9	F3			
SD-10	F3			
SD-11	F3			
SD-12	F3			
SD-14	F3			
SD-15	F3			
SD-16	F3			
SD-17	F3			
SD-18	F1			
SS-19	F1			
SD-20	F1			
SD-21	F3			
SD-22	F3			
SD-56	F3			

※ 鉄線の寸法は、扉の概略寸法を示す。
シヤツクの寸法は、枠の内法の概略寸法を示す。
*1 補強する鉄線
*2 交換する鉄線
*3 補強するシヤツク

(注) SDは鉄線、SSはシヤツクを示す。
*4 交換するシヤツク
*5 固縛補強する
*6 次回以降申請

番号	電線	材料	寸法(mm) ※	備考
SD-57	F3			
SD-221	F3			
SD-61	F3			
SD-62	F3			
SD-68	F3			
SD-69	F1			
SS-70	F1			
SD-71	F3			
SD-83	F3			
SD-84	F3			
SD-85	F3			
SS-87	F1			
SD-92	F3			
SD-93	F3			
SD-135	F3			
SD-136-RP	F3			
シヤリ 1	F1			
シヤリ 2	F1			
シヤリ 3	F1			
シヤリ 4	F1			
シヤリ 5	F1			
シヤリ 6	F1			
シヤリ 7	F1			

625

625

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

材料に係る記載内容を適正化するため。
なお、適合性評価における影響がなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

表1-3-1 建物の各部分の許容歪み率 (鉄骨工種) (7/7)

注) 縦向きは他の部分と異なり、許容歪み率を明示する。

部	材	部材名	歪み率 (%)	
			縦向き	横向き
柱	鋼材	圧縮	1/1000	1/1000
		引張	1/1000	1/1000
梁	鋼材	圧縮	1/1000	1/1000
		引張	1/1000	1/1000
床	鋼材	圧縮	1/1000	1/1000
		引張	1/1000	1/1000
壁	鋼材	圧縮	1/1000	1/1000
		引張	1/1000	1/1000
屋根	鋼材	圧縮	1/1000	1/1000
		引張	1/1000	1/1000

表1-3-1 建物の各部分の許容歪み率 (鉄骨工種) (7/7)

部	材	部材名	歪み率 (%)	
			縦向き	横向き
柱	鋼材	圧縮	1/1000	1/1000
		引張	1/1000	1/1000
梁	鋼材	圧縮	1/1000	1/1000
		引張	1/1000	1/1000
床	鋼材	圧縮	1/1000	1/1000
		引張	1/1000	1/1000
壁	鋼材	圧縮	1/1000	1/1000
		引張	1/1000	1/1000
屋根	鋼材	圧縮	1/1000	1/1000
		引張	1/1000	1/1000

902

206

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

